

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

| 要 望 事 項 | 要 望 に 対 す る 回 答 |
|---|---|
| <p>【市長公室関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬季五輪誘致のため調査費の計上をされたい。 また、国体以降の活性化として世界アルペン大会や冬季アジア大会、NHKフィギア大会など冬季スポーツ大会誘致を促進されたい | <p>国際レベルの大会を開催することは、地域にインフラ整備効果や経済効果などをもたらすほか、トップアスリートの競技を間近に観戦できることで、市民のスポーツ人口の拡大や競技力の向上にも寄与するものと考えております。また、その一方で誘致に向けた市民意識の醸成、誘致体制の構築、又は経済的負担などの課題があるものと存じております。従いまして、現段階では調査費の計上は考えておりませんが、平成28年度内に設立予定の(仮称)盛岡広域スポーツコミッションの取組の中で、2020東京オリンピック・パラリンピックの国内予選会・事前合宿誘致の取組を通じて冬季スポーツ大会につきましても視野に入れながら、スポーツツーリズムの推進の中で検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部スポーツ推進課)</p> |
| <p>【市民部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会への補助金を増額されたい。 | <p>平成27年3月に策定した盛岡市町内会・自治会協働推進計画において、町内会・自治会等の補助金申請の手続きを簡素化し、用途の自由度を高める協働推進奨励金制度を28年度から開始いたしました。</p> <p>今後必要に応じて、町内会・自治会をはじめ多くの市民の方々の御意見をお聞きしながら、見直し・改善等に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">(市民部市民協働推進課)</p> |
| <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金を減額しておきながら、別の補助金を創設している。以前の水準に戻すことも検討されたい。(町内会行事や伝統行事などで補助金の削減がある一方で別口で、補助金の受け取れる制度を作っている現状がある) | <p>平成27年3月に策定した盛岡市町内会・自治会協働推進計画において、町内会・自治会等の補助金申請の手続きを簡素化し、用途の自由度を高める協働推進奨励金制度を28年度から開始いたしましたが、この制度では、基本的に従来の支給額を維持しております。</p> <p>今後必要に応じて、町内会・自治会をはじめ多くの市民の方々の御意見をお聞きしながら、見直し・改善等に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">(市民部市民協働推進課)</p> |

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

| 要 望 事 項 | 要 望 に 対 す る 回 答 |
|---|---|
| <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の市民に複数の役職が集中している実態を把握され、市民参加が市民負担となっていないか実態を調査されたい。 | <p>盛岡市町内会・自治会協働推進計画を策定した際に、市内40ほどの町内会・自治会にお話を伺ったところ、それぞれ抱える課題は必ずしも共通ではありませんでしたが、特に、役員の高齢化や町内会・自治会活動に参加しない住民の存在、役員の担い手不足などの御意見をいただいております。</p> <p>市は、役員の事務負担の軽減や、現役世代及び女性が役員を担うことへの抵抗感を減らすため、28年度から協働推進奨励金制度を開始いたしました。</p> <p>さらに、市民協働推進センターを設置したほか、地域担当職員制度を開始しましたので、地域に身近な市の窓口として御活用いただきたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部市民協働推進課）</p> |
| <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車事故防止のために、車道の左側走行と夜間ライト点灯の指導を強化していただきたい。 | <p>自転車事故防止のための指導につきましては、通勤通学時における交通指導員による歩行者や自転車利用者に対する街頭指導のほか、交通安全教育専門員、交通指導員による小・中学校における交通安全教室での指導や学校、警察及び市の連携による高校生、大学生を対象とした学校周辺での通行指導を行っております。また、毎月8の日（岩手県自転車安全指導の日）には、関係機関及び関係団体と合同で、街頭での安全利用の呼びかけやルール・マナー違反者への指導を行っております。</p> <p>市といたしましては、今後も警察及び関係団体等と連携を図りながら、自転車利用者には交通ルールの遵守や安全利用を引き続き呼びかけてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部くらしの安全課）</p> |
| <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新市営球場は県営球場との合築にしたい。 | <p>新市営野球場の県との共同整備につきましては、県におきましても異論はないものと伺っており、国体終了後から具体的な協議に入っており、現段階では内容を公表できるものではございませんが、民間活力導入可能性調査の実施に向けた検討を進めているところで</p> <p style="text-align: right;">（市民部スポーツ推進課）</p> |
| <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民健康保険の広域化における行程や概要、運営方針を早期に示されたい。 | <p>平成30年4月から開始される国民健康保険の広域化では、都道府県が市町村とともに国民健康保険の運営を担い、財政運営の責任主体となる一方、市町村は、保険料の賦課・徴収、保健給付、保健事業などを実施することになっております。</p> |

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

| 要 望 事 項 | 要 望 に 対 す る 回 答 |
|---|---|
| | <p>現在，県主導のもと，県，市町村及び国保連による協議の場であります広域化等支援方針策定推進連携会議及びそのワーキンググループにおいて，運営方針，納付金の算定方法及び標準保険料率，交付金・財政運営等についての協議が行われているところです。各協議は平成29年度上半期まで続く予定であり，県では，根幹である運営方針につきましては，平成29年3月までに素案をまとめ，運営協議会等での審議を経て，平成29年10月を目途に，納付金・標準保険料率については平成30年1月に決定，公表するとしております。</p> <p>本市といたしましても，広域化への円滑な移行と制度の安定化に向けて，先の連携会議や周辺市町と構成する国保盛岡地区協議会を通じて，引き続き，意見，要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部健康保険課）</p> |
| <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合プール・アイスリンクの近くに、ミーティングが出来る程度の広さの部屋を備え、長期滞在が可能なくらい安価な、合宿用宿泊施設を設置していただきたい。 | <p>総合プールやアイスリンクの近接地への合宿用宿泊施設の設置につきましては，利便性が向上すると存じますので，民間活力を生かした整備手法の検討など幅広く研究してまいりたいと存じます。なお，当面は，つなぎスポーツ研修センターの利用率向上に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部スポーツ推進課）</p> |
| <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術・文化都市条例の制定に向けた市民からの意見聴取を行われたい。 | <p>文化振興のための条例を策定しているのは，中核市43市中12市（文化庁HPから抜粋）となっております。</p> <p>また，国においては，文化芸術創造都市の推進を図り，文化芸術の持つ創造性を領域横断的に活用し，自治体や市民（文化ボランティア，アートNPOなど），企業などと協働による地域の課題解決に向けた取組への支援を進めようとしております。</p> <p>本市におきましても，文化芸術によるまちづくりの推進を図るため，（仮称）芸術文化振興ビジョンの策定を進めており，策定に当たり文化芸術団体から意見を聴取しているところです。その中で条例制定の必要性を含め，検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部文化国際室）</p> |
| <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的引きこもりの実態把握と社会復帰のための施策を実施されたい。 | <p>社会的ひきこもりに対する施策につきましては，平成27年3月に策定された「盛岡市子ども・若者育成支援計画」の「基本目標2 困難を有する子ども・若者の自立を目指します」において，「地域を知る方々の協力を得ながら早期発見・早期支援」，「行政と民間支援</p> |

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

| 要 望 事 項 | 要 望 に 対 す る 回 答 |
|--|--|
| <p>【建設部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 10</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン30の計画的な導入を促進されたい。 | <p>団体のネットワークを活用した相談・支援」,「岩手県ひきこもり支援センターとの連携による支援方法の検討や情報共有」を施策の方向性として掲げております。</p> <p>ひきこもりの実態把握は,その性質上困難な状況にありますが,今年度はその取組みの一つとして,岩手県立大学との地域共同研究により,「社会的ひきこもりの回復過程の考察及びロールモデルの作成」を実施しており,社会的に孤立している方や家族を相談機関に結びつけるきっかけとなるとともに,支援者の参考となるような冊子の作成を目指しております。今後はこの取組みの成果を検証しながら,関係機関・団体との連携を強化し,引き続き施策の充実に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(市民部男女共同参画青少年課)</p> <p>盛岡市内のゾーン30につきましては,現在,杜陵,本宮,土淵,見前の各小学校周辺に設定されております。警察署にゾーンの設定の考え方について伺ったところ,「学校周辺や通学路は,ゾーンを設定すべき区域の選定の大事な要件のひとつである。」とのことでしたので,今後のゾーン30設定にあたっては通学路を優先的に選定するよう,引き続き所轄警察署に要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部くらしの安全課)</p> |